

平成31年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	土屋 尚代
	全体計画						経費区分		-		内線	3614
事務事業名	4246 児童クラブ運営事業											
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課											
施 策	02020900 子育て環境の充実											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	030205 民生費・児童福祉費・児童クラブ費										
	事業	010000 児童クラブ運営事業										
事業目的						事業概要・効果						
留守家庭児童に放課後児童健全育成事業を推進するため、児童クラブの運営を行う。						9児童クラブの運営と、民間の団体に児童クラブの運営を委託。 スポーツ・文化・交流活動推進事業の実施。 児童クラブの施設維持管理。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
登録児童の放課後児童健全育成事業を推進するため、安心・安全な児童クラブの運営を実施した。職員の巡回による相談・指導を実施した。	登録児童の放課後児童健全育成事業を推進するため、安心・安全な児童クラブの運営を実施した。職員の巡回による相談・指導を実施した。
平成29年度 実績	平成30年度 実績
登録児童の放課後児童健全育成事業を推進するため、安心・安全な児童クラブの運営を実施した。	登録児童の放課後児童健全育成事業を推進するため、安心・安全な児童クラブの運営を実施した。
平成31年度 予定	令和 2年度 予定
登録児童の放課後児童健全育成事業を推進するため、安心・安全な児童クラブの運営。	登録児童の放課後児童健全育成事業を推進するため、安心・安全な児童クラブの運営。

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		73,989	74,176
特定 財源	国庫支出金	16,070	19,125
	都道府県支出金	19,037	19,125
	地方債	0	0
	その他	12,263	13,541
一般財源		26,619	22,385
人員数 (人)	正規職員	0.5	0.5
	嘱託職員	0.0	0.5
	臨時職員	0.5	0.0
人員 コスト	正規職員	3,575.0	3,575.0
	嘱託職員	0.0	1,437.5
	臨時職員	622.5	0.0
	計	4,197.5	5,012.5
市民一人当たりの経費		1.5	1.5
総額		78,186.5	79,188.5

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	27	スポーツ・文化・交流活動推進事業講師謝礼
11節 需用費	4,524	消耗品費、燃料費、食料費、光熱水費、修繕料
13節 委託費	18,748	1町・2民間児童クラブ事業委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	会議等出席負担金
その他	50,690	賃金 ほか

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	52	スポーツ・文化・交流活動推進事業講師謝礼
11節 需用費	5,218	消耗品費、燃料費、食料費、光熱水費、修繕料
13節 委託費	18,689	学童保育システム委託料 2 民間児童クラブ事業委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	50,217	賃金、役務費、使用料及び賃借料 ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 子ども・子育て支援事業の放課後児童健全育成事業を推進する。 放課後や学校休業日に、子ども達に安心・安全な居場所を提供するため、職員の安定的な確保が必要不可欠であるが、勤務時間が短いことや、勤務時間帯が夕方になるため、募集に対しなかなか人が集まらない。令和2年度より指定管理者制度を導入することで、多様な人材の確保を図っていく。 	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	保護者が安心して就労でき、児童が安全に放課後を過ごすことができる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 放課後児童支援員の資格取得。 月1回の会議による職員間の情報交換。 児童センター所長のクラブ巡回による指導・相談。 各種研修会の実施。 令和2年度より、指定管理者制度を導入し、勤務時間や勤務場所等、柔軟な人員配置を図る。 	

振り返り（決算年度の取組み課題）

資格取得のための研修参加ができた
 庁内研修の実施により意識の向上が図られた
 児童クラブのスタッフ確保が課題となっている

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	抜本的見直し（拡大）	次年度以降の方向性	抜本的見直し（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
指定管理者の導入を進める		ニーズが増す中、運営全般を見直す必要がある	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	